**JICA草の根技術協力事業　成果報告会**

**環境教育の移転と現地化　～コロナ禍の環境国際協力～**

日時 6月4日（土）　10:00-12:00

場所 完全オンライン（Zoom）

主催 北九州市立大学

参加資格 なし、事前申込制（→下に連絡先を記載）

参加費 無料

|  |
| --- |
| JICA草の技術協力事業「インドネシア・北スマトラ州デリ川流域の水環境改善のための環境教育推進事業（2018年4月～2022年4月）」  インドネシア第4の都市であるメダン市（北スマトラ州の州都）を流れるデリ川は、都市の発展に伴い水質が悪化しており、近年漁獲量も減少しています。汚染原因の65％とみられる家庭排水はほとんど未処理のまま河川に放出されており、家庭ごみの河川への投棄も深刻です。  この事業は、デリ川流域の上･中･下流に5つのモデル校を設けて、環境教育リーダーの育成、環境教育の教材・プログラムの開発と実践、環境教育PDCAの構築、生徒・保護者による水質調査やリサイクル活動の実践と定着を目指して４年間活動しました。 |

|  |
| --- |
| 開催趣旨  草の根事業4年間の経験を、日本において環境国際協力に関わる多くの方々にフィードバックすることが主な目的です。北九州市の取り組みの移転とその現地化の過程において、どのように工夫したかお伝えします。また、2020年1月以降２年間以上にわたりオンラインで進めてきましたので、コロナ禍においてオンラインを積極的に活用した国際協力の経験をお話しします。  インドネシアはもちろんですが、それ以外の国を対象とした環境教育に携わっておられる方、さらに日本の教育現場において環境教育に携わっておられる方にも参考になることがあれば幸いです。 |

**●プログラム**

10:00-10:05　開会あいさつ

10:05-10:10　JICAよりごあいさつ

10:10-10:25　本事業の概要説明

プロジェクトマネージャー

北九州市立大学　教授　松本 亨

10:25-10:40　生徒・保護者参加の環境ワークショップに関する報告

ダルマプルサダ大学名誉客員教授（元同大第一副学長補佐）

宇田 直史

10:40-10:55　モデル校における環境教育PDCAの試行

北九州市立萩ヶ丘小学校　教諭　武下 三紗

10:55-11:10　映像の投影

11:10-11:25　教材・プログラムの開発・試行、生徒・保護者の意識変化の計測

北九州市立大学　研究員（パクワン大学　講師）

インドリヤニ ラフマン

11:25-11:40　本事業にモデル校として参加した感想、学校の変化について

インドネシア・ナモランベ第1高校　校長

フェブリアニ トリー デウェイ

11:40-11:55　質疑

11:55-12:00　閉会あいさつ

**●お問い合わせ先**

北九州市立大学　松本研究室　石井

n-ishii (ｱｯﾄﾏｰｸ) kitakyu-u.ac.jp

Tel/Fax 093-695-3719

**●お申し込み先**

https://forms.office.com/r/t4VFBbhX8Q

6月2日17時まで

お申込みいただいた方にZoomのリンクをお知らせします。